



東京都立水元特別支援学校

# 学校だより

令和5年度10月号

令和5年9月25日発行

## 「学習の連続性」について



しゅかんきょうゆ いすみ かいち  
主幹教諭 泉 嘉一

水元特別支援学校キョウカ-  
ぼにたん&みずもちゃん

2学期になり猛暑も少しずつ落ち着き、先日は今年度最後の水泳授業をすべての学年が実施することができました。大きな事故や体調不良なく無事に水泳授業を終えることができ、保護者の皆様の御理解及び御協力に感謝いたします。

さて、今号では、本校が研究を進めている「学習の連続性」について御紹介したいと思います。平成29年2月に特別支援学校学習指導要領（小学部・中学部）のポイントには一つとして、「学習の連続性」が挙げられています。この「学習の連続性」とは、各学部での学習を、単独としてとらえるのではなく、隣り合った学部においての学びにつながるよう、連続した教育活動としてとらえる、という視点です。

本校は、小学部と中学部の学校で、9年間を見通した教育活動を実践しております。本年度の研究では一歩踏み込み、年間指導計画や実際の指導を基に9学年の指導内容が一度に把握できる一覧表を作成しています。そして、学習指導要領との整合性や全体をバランスよく取り扱えるようにしたりする等、授業力の向上に努めています。授業の主役は本校の児童・生徒です。そこで、学習指導要領で示されている学習段階を教科毎に明確にし、教材、教具の情報も交換することで、より児童・生徒の実態に合った学習内容を展開できるようにしていきたいと考えております。

「学習の連続性」は、限られた時間を有効に活用していく視点です。

今後も、一人一人の児童・生徒が、無理なく順を追って学びをより深めることができるよう教育活動を実践していきたいと思っております。

学習指導要領  
3つのキーワード

